

商工会議所LOBO（早期景気観測）

-2017年12月調査結果-

調査概要

- 調査期間 2017年12月6日～26日
- 調査対象 200社
- 回答企業 104社
- 回収率 52.0%

※DI値（景気判断指数）について

DI値は、売上・採算・業況などの各項目についての判断の状況を表す。

ゼロを基準として、プラスの値で景気の上向き傾向を表す回答の割合が多いことを示し、マイナスの値で景気の下向き傾向を表す回答の割合が多いことを示す。

従って、売上高などの実数値の上昇率を示すものではなく、強気・弱気などの景気感の相対的な広がりの意味する。

なお、従業員の項目については、DI値ゼロを基準として、プラス値は人員不足感を表し、マイナス値は人員過剰感を表している。

DI値 = (増加・好転などの企業割合) - (減少・悪化などの企業割合)

業況・採算：(好転) - (悪化) / 売上：(増加) - (減少) / 従業員：(不足) - (過剰)

旭川市概況

※全産業の12月の状況を見ると業況DIは、前月より8.0ポイント回復の▲6.7となった。

2017年9月以来4ヶ月連続でマイナス水準を推移している。

業種別では、全ての業種において回復した。

※向こう3か月の全産業における、先行き見通し業況DIは▲15.4、当月に比べ8.7ポイント悪化を見込んでいる。

業種別でみると、建設業、製造業、卸売業で悪化が見込まれている。

旭川市全産業 DI 値（前年同月比）の推移

	2017年 7月	8月	9月	10月	11月	12月	先行き見通し 2018年1月～3月
業況	▲4.9	1.9	▲4.7	▲6.9	▲14.7	▲6.7	▲15.4
売上	9.7	4.7	8.5	▲0.9	▲0.9	6.7	▲11.5
採算	0.9	▲1.9	▲2.9	▲10.4	▲13.8	▲7.7	▲17.1
仕入単価	▲27.2	▲24.7	▲34.0	▲31.3	▲39.5	▲33.3	▲31.4
従業員	32.1	29.5	35.9	34.8	32.1	35.2	35.2
資金繰り	1.9	7.6	▲4.8	▲3.5	▲11.0	▲2.9	▲8.7

旭川市産業別業況DI値（前年同月比）の推移

	2017年 7月	8月	9月	10月	11月	12月	先行き見通し 2018年1月～3月
建設	19.3	4.0	23.1	7.2	0.0	3.7	▲22.2
製造	4.4	11.5	9.1	▲4.2	▲4.4	0.0	▲13.0
卸売	▲22.7	▲5.0	▲13.6	▲8.3	▲13.6	▲13.1	▲17.4
小売	▲21.4	▲6.7	▲17.7	▲5.6	▲46.6	▲26.7	▲20.0
サービス	▲16.7	0.0	▲36.8	▲28.5	▲25.0	▲6.3	▲0.0

今月のトピックス（業界の声・経営上の問題点）

建設業	<ul style="list-style-type: none"> ・工事が減少して総体的に昨年より悪くなる予定です（設備その他） ・旧宅地、売地が多く出ている。年々割安傾向になっている。高齢で施設に入り、引き継ぎが無い様(建築) ・冬期間、現場休みの為 4 月より開始予定(建築) ・これまでの技術を活かした新分野進出に光が見えており、従業員のモチベーションが向上している。 業界としては、元気が無い状況である（設備その他）
製造業	<ul style="list-style-type: none"> ・購入資材（金属材料）の値上がりが続いている（金属鉄工業） ・紙媒体のマーケットは、インターネットの普及等により縮小している。今後もこの傾向は続くものと思われ、売上高は前年実績を確保することは難しい。WEB サイトや動画部門の受注も多くなっているが、紙媒体の落ち込みはカバーできていない（印刷出版） ・後継者なり新規起業者の支援が急務、特に高齢の経営者の企業ではマインドも下がっていて、発注のリクエストに応えられなく、やむを得ず地域外の業者へ発注せざるを得ない事が増加している(金属鉄工業) ・来春 3 月ぐらいまでの受注は確保できたが人手確保に苦戦（金属鉄工業） ・来年度の新規雇用の目処がつかず、当面は今の人員で賄っていかねばならない。道外からの案件も多くあるのだが道内の仕事をするだけで精一杯の状態である。売上確保のためにも、雇用確保は今後の大きな課題である（金属鉄工業）
卸売業	<ul style="list-style-type: none"> ・12 月は売上・粗利とも前年を下回った。累計は半期を終え予算(売上・粗利)は達成している。今後についてはあまり変化は見られないと思う（機械鋼材） ・市内販売先からの情報によると景況感悪く活気が無い。個人消費も抑えられている。仕入価格も微増傾向。後継者不在。（その他） ・灯油の仕入価格について 10.11 月と上昇したが 12 月に入り落ち着いている(その他)
小売業	<ul style="list-style-type: none"> ・新規設備投資需要（食料品） ・仕入価格の上昇、販売価格への転嫁不足（その他） ・従業員不足が解消されない（その他） ・真冬になり気温も下がりアウターが少しずつ動き始めました。高額商品が多く売上も見込めそうですが来店客数が非常に少ないのが気がかりです。前半・中盤でプロパー販売が出来るかが売上の鍵になりそうです。後半はウインターセールです（衣服身回品）
サービス業	<ul style="list-style-type: none"> ・12/1 にサホロリゾート、12/8 にはトマムリゾートのスキー場オープン。世界中より 1 日 1,000 名の宿泊客(スキー客)で賑う。来年はニセコでホテルの建設ラッシュ。世界からすごい勢いで観光客が北海道に押し寄せる。頑張って、頑張って売上増に貢献する事を誓います（理美容クリーニング） ・ビジネス主体で客室単価向上が厳しい（市内価格が下落）、付帯（飲食・浴場）売上減少（個人消費低下）（ホテル・旅館） ・個人消費悪化。サービス業としては最悪（整備） ・売上は増加しているが外注へ出しているため、好転してはいない（その他） ・原油価格の上昇（運送） ・野菜の価格が異常に上がっている。かなり厳しい（飲食） ・運転者の不足（運送）

旭川市の産業別概況

産業	概況
建設業	<p>売上 DI13.5 ポイント悪化、採算 DI4.2 ポイント悪化、仕入単価 DI11.5 ポイント回復、資金 DI7.4 ポイント回復、従業員 DI3.3 ポイント増加し不足感が高まった。総じて業況 DI は 3.7 ポイント回復となった。業種別では、設備その他 8 ポイント悪化、総合工事 17 ポイント、建築 3 ポイント回復となった。これまでの技術を活かした新分野進出に光が見えており、従業員のモチベーションが向上しているが、業界としては元気がない状況との声も寄せられている。</p>
製造業	<p>売上 DI24.8 ポイント回復、採算 DI8.7 ポイント回復、仕入単価 DI2.3 ポイント悪化、資金 DI0.1 ポイント回復、従業員 DI11.9 ポイント増加し不足感が強まった。総じて業況 DI は 4.4 ポイント回復となった。業種別では、食料品 23 ポイント、印刷出版 17 ポイント悪化、家具木材横ばい、金属窯業他 29 ポイント回復となった。3 月ぐらいまでの受注は確保できたが人手確保に苦戦しているとの声も寄せられている。</p>
卸売業	<p>売上 DI8.7 ポイント回復、採算 DI4.8 ポイント回復、仕入単価 DI7.9 ポイント悪化、資金 DI9.2 ポイント回復、従業員 DI12.0 ポイント増加し不足感が高まった。総じて業況 DI は 0.5 ポイント回復となった。業種別では、食料品 1 ポイント、機械鋼材 8 ポイント、その他 8 ポイント悪化、繊維・衣服等 33 ポイント回復となった。景況感が悪く活気がないとの声も寄せられている。</p>
小売業	<p>売上 DI13.3 ポイント回復、採算 DI26.6 ポイント回復、仕入単価 DI13.3 ポイント回復、資金 DI6.7 ポイント回復、従業員 DI6.7 ポイント減少し不足感が弱まった。総じて業況 DI は 19.9 ポイント回復となった。業種別では、自動車 8 ポイント悪化、衣料品、食料品横ばい、その他 58 ポイント回復となったが、実体は「悪化」から「不変」への変化が主因であり実体はほ横ばい。従業員不足が解消されないとの声も寄せられている。</p>
サービス業	<p>売上 DI8.8 ポイント回復、採算 DI1.3 ポイント回復、仕入単価 DI17.5 ポイント回復、資金 DI18.8 ポイント回復、従業員 DI10.0 ポイント減少し不足感が弱まった。総じて業況 DI は 18.7 ポイント回復となった。業種別ではホテル・旅館 25 ポイント悪化、運送横ばい、理美容・クリーニング 100 ポイント、その他 25 ポイント、飲食 33 ポイント、整備業 27 ポイント回復となったが、実体は「悪化」から「不変」への変化が主因であり実体はほ横ばい。野菜の価格が異常に上がっておりかなり厳しいとの声も寄せられている。</p>